総合特別区域評価・調査検討会における評価結果（平成24年度）の概要

２．分野等別状況　（２）地域活性化総合特区　①グリーン・イノベーション分野（9/10）

	評価区分（*1）	総合評価（IとIIの平均値にIIIを加味）	Ⅰ目標に向けた取組の進捗に関する評価	Ⅱ支援措置の活用と地域独自の取組の状況	Ⅲ現地調査時の指摘事項及び対応状況等（*2）	総合評価に係る専門家所見（主なもの）
環境観光モデル都市づくり推進特区 （広島県）	準	C 3.0	C 2.6 進捗度 ・世帯当たりにおけるCO2排出量の削減 73% ・環境学習等を目的とした教育旅行客数 46%	B 3.8 規制の特例等 ・改造電気自動車等のバッテリーから家庭への給電に関する基準の明確化　等 財政支援等 ・次世代エネルギー技術実証事業（地域内の最適なエネルギーマネジメント構築事業・地域エネルギーバックアップシステム構築事業） 地域独自の取組 ・広島県総合特区事業費補助金（地域内のエネルギーマネジメント構築等に要する経費の補助）　等	－0.25	・エネルギーマネジメント、エネルギーバックアップ、スマートエコモビリティの先端システムと、既存の観光資源との結び付け方やストーリー性など観光戦略側での工夫（※）が期待される。 ・（PV（太陽光発電）充電率を大幅向上させる新充電方式等）技術的にはかなり高度なものを目指しており、期待できる。 ※：平成24年度に教育旅行客数（修学旅行）が目標の半分を下回っている（進捗度46%）。修学旅行だけの絞り込みや目標値は妥当だったかを再考し、具体的な対応策が求められる。

◆評価書はこちら　　◆評価結果はこちら

*1）「正」とは正評価、「準」とは準評価を意味する。　*2）「Ⅲについては、「地方公共団体による総合評価の状況」についても評価している。